

総務文教常任委員会議会報告会 記録用紙 兼 報告書

開催年月日：令和8年7月3日（金）午後7時～

会 場 名：クロスベイ新湊

参加者数：41名

出席議員：杉浦委員長、奈田副委員長、吉野委員、澤村委員、加治委員、金委員、岩口委員

【記録者：澤村、加治】

議会報告会での意見等	
質問、意見の要旨	議員回答の要旨
新庄市は、「百年の大計」という計画書を作って取り組んでおり、長期的な視点で具体的な計画を形にすることは非常に重要だと思う。 このような計画は射水市にはないと思うが、今後、作っていく考えはあるか。	現在、曳山まつりは非常に盛り上がっているが、少子高齢化が加速しており、10年後20年後を考えると何とも言えない状況である。 議会として、このような計画を作るように働きかけていきたい。
新庄市のまつりへの補助金の予算額と交付額は分かるか。 射水市は、曳山まつりに対する補助金の予算取りを進めているのか。どのような計画があるのか。	新庄まつりに関する予算総額は把握していない。 射水市では、曳山修理に対して上限200万円の補助はあるが、それで足りるわけではないので皆さん苦勞をされていると思っている。毎年、議員からも増額を要望しているが、予算の関係で難しい。 また、曳山格納庫等に係る補助についても、地元の曳山保存会の中で順繰りでやっていると聞いている。
新庄市の有料観覧席の内容や料金はわかるか。 また、曳山まつりの収益を上げるための枠組みづくりや、県外・海外の方に、曳山まつりがどんなものか簡単に分かるようにする仕組みづくりを支援してほしい。	新庄市では、8/24の宵まつりで、S中央席4,500円、S席4,000円、A席3,000円、テーブル席35,000円（弁当付4名）の設定で800席を用意したということである。 曳山まつりの収益性向上等に対する取組については、議会の中でも議論していきたい。